

のらえものの

スズムシ日記

(2015年7月22日～10月10日)

観察者：古高 利男

栗原さんから、「スズムシ、飼ってまない？」と声をかけられた。
二つ返事で「いいね～」と応えてみたのだが・・・。

- 7月22日 栗原さんから、段ボール入ったふ化してまもないスズムシを受け取る。
小さいものが100匹以上はいそう。
「大事に育てなくちゃ！」
以前に、やはり栗原さんから宅急便で送られてきたスズムシがいた。
ガラスケースに入れ、「涼しい所」と考えて駐車場の日影を選んだ。ある日覗いてみると、一匹もいないのだった。
この庭には、カナヘビがうろちよろしていることは事実だが・・・。
- 8月 4日 やっと鳴き出す！
栗原さんに連絡すると、鳴くのはオスで羽があるもの、メスには羽はなく体は細い、という。
- 8月 7日 1週間家を空けるので、エサをどのようにしようか悩んだ。
結局、ナス・キュウリは大きく切ったもの、レタスを水しみ込ませたペーパータオルでくるんでおく。タンパク質のいりこは、多めに入れておくことだった。
- 8月15日 スズムシは、鳴いていた！
エサは、キュウリは溶けていた。が、他は大丈夫だった。
レタスには群がっており、それを伝って何匹か逃げたようだ。
夜中、トイレに起きると、洗面所付近で鳴き声を聞き「ニヤア！」とする。
- 8月16日 朝方と夕方はよく鳴く。当に鈴のような鳴き方で、うるさいぐらいだ。

- 8月17日 雨の降る朝方、特に大きい声で鳴いているようだった。砂にはもう卵を産んでいる可能性があるので、「砂は、もういじらないほうがベスト」と、栗原さんからアドバイスを受ける。
- 8月19日 4日ぶりにエサを取り替える。厚めに切ったナスは、よく食べている。梨の皮や芯はショウジョウバエなどの虫が来て、不適だ。鳴いているオスの羽に箸で触ると、サッと閉じる。オスだけで、60匹はいる。
- 8月20日 午後1時～4時頃は、ピタッと鳴かない。鳴くのは、朝と夕、そして夜だ。
- 8月31日 ずっと、曇り・雨。午後1時～5時まで、一匹たりとも鳴かない。
- 9月 2日 漬け瓜を食べた。庭から「リ～ンリ～ン」と鳴いてきたような気がした。逃亡者か？
- 9月 7日 エサの取り替えを忘れていた。ナスは皮だけになっている。新しいナスと漬け瓜を入れると、すぐに食べに来た。煮干しの頭もよく食べてくれる。
- 10月1日 すっかり鳴き声が小さくなってきた。
- 10月2日 鳴かない！覗いてみると、元気なのは10匹ぐらい。白い触覚が目立つ。夜8時過ぎ、弱々しく鳴き始めた。
- 10月8日 ほとんど鳴かない！
- 10月10日 数こそ10匹だが、鳴かない。な～んだ！そのすべてがメスだった。
- 10月20日 すべてのスズムシが死んだのを確認し、ガラスケースを倉庫に保管した。
「来春、ふ化しますように！」

①



← ヌス

ヌスはひよこ長い
感じ

← オス

オスは四角ばって
いる感じ

②



← 触角

← オスの羽が大きく
広い

← 触角は体長以上も
ある。

③



← 鳴いているオス
羽を上にあげる
人がいいと気持ちいい。

④



飼育中の様子

野菜なら、なんでも
食べる。
オスは好きだよた!

⑤



スズムシの 食べ方

とんとんと深く
食べていく。

⑥



死んだ オス・メス

少しずつ
死んでいく。

オス

メス